

Panasonic®



取扱説明書

 Strada

車載用 地上デジタルチューナー

品番 TU-DTX300A

確
認

設
定

見
る

設
置
・
接
続

必
要
な
と
き

ご使用の前に、本書の「安全上のご注意」(☞ 4～7ページ)と付属アンテナに添付されている取付説明書の「安全上のご注意」(☞ 2～4ページ)を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

保証書別添付

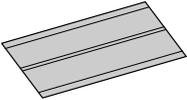
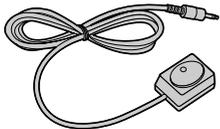
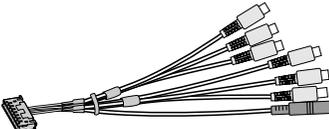
このたびは、パナソニック車載用 地上デジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 「取扱説明書」と付属アンテナの「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

TQBA0622

商品構成一覧表 (取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。
万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店または購入先までご連絡ください。

<input type="checkbox"/> 本機 …… 1個 		<input type="checkbox"/> リモコン …… 1個 	
<input type="checkbox"/> はり付けテープ …… 2枚 (本体取り付け用) 	<input type="checkbox"/> リモコン受信部 …… 1個 (固定用両面テープ1枚付き)  長さ：約 3 m	<input type="checkbox"/> AV 入出力 / リモートケーブル …… 1本  長さ：約 17 cm	
<input type="checkbox"/> 電源コード …… 1本  長さ：約 3 m	<input type="checkbox"/> B-CAS カード …… 1枚 	<input type="checkbox"/> ダイバーシティアンテナ …… 2式 (フロント用 4枚) 	

●付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご愛用者アンケートのご案内

アンケートにお答えの方に抽選でパナソニックオリジナルグッズをプレゼント!

このたびは Panasonic の車載用 地上デジタルチューナーを購入いただきありがとうございました。

今後、より良い製品を提供していくための参考にさせていただきますので、下記 URL よりご愛用者アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。アンケートにお答えいただいた方から抽選でパナソニックオリジナルグッズをプレゼントします。

※当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケート URL : <http://research.hi-ho.ne.jp/cartv/>

今後とも、本製品を末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

Panasonic カーエレクトロニクス商品のご紹介

<http://panasonic.jp/car/>

●この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

もくじ

確認

- 商品構成一覧表…………… 2
- 安全上のご注意…………… 4
- 正しくお使いいただくために…………… 8
- ご使用の前に…………… 10
- 別売品との組み合わせでシステムアップ…………… 11
- 本機の特長と楽しみかた…………… 12
- 各部のはたらき…………… 14
- B-CAS カードの挿入…………… 16
- メニュー画面の操作と項目…………… 17

設定

- かんたん設置設定…………… 18
- チャンネル設定 (ホームスキャン) …… 22
- チャンネル設定 (おでかけスキャン) …… 24
- 接続テレビ設定…………… 26
- 音声設定 (デジタル音声出力・アナログ音声レベル) …… 28
- 選局設定…………… 30
- 地域設定…………… 32
- 受信設定…………… 34
- 個人情報消去…………… 35

見る

- いろいろな情報を見る…………… 36
- テレビ放送を見る…………… 38
- 番組表からテレビ番組を見る…………… 40
- データ放送を見る…………… 42
- 信号切換…………… 43
- データ放送の番組内で文字を入力する…………… 44

設置・接続

- 本機の設置と接続…………… 46
- 地上デジタル放送受信用アンテナの接続…………… 49
- 電源の接続と配線…………… 50
- カーナビゲーションとの接続…………… 51
- カーテレビ / カーモニターとの接続…………… 54
- カーナビゲーションおよびカーモニターとの接続…………… 60
- 他社機器との接続…………… 62
- 外部映像機器との接続…………… 63

必要なとき

- 地上デジタル放送チャンネル一覧表 …… 64
- アイコン一覧…………… 66
- メッセージ表示一覧…………… 68
- お手入れについて…………… 69
- リモコンの電池の交換方法…………… 69
- リモコンの設定…………… 70
- 用語解説…………… 71
- 故障かな!? …… 72
- さくいん…………… 74
- 仕様…………… 75
- 保証とアフターサービス…………… 76
- 別売品のご紹介…………… 78

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

確認

安全上のご注意

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない

 禁止
運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

 禁止
ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない

 禁止
走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

警告

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12 V マイナス ⊖ アース車で使用する

 DC12 V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車（DC24 V 車）には使用できません。火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

 禁止
煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

 分解禁止
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れない

 接触禁止
感電の原因となります。

キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

 禁止
あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

 禁止
内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない

 禁止
車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

確認

安全上のご注意

安全上のご注意

必ずお守りください

確認

安全上のご注意

警告

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

 説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしておく

 バッテリーのマイナス⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

リモコンを放置しない

 禁止
運転中に足もとに転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

 禁止
誤って飲み込む恐れがあります。
●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない

 禁止
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

注意

本機の通風孔をふさがない

 禁止
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

車載用以外には使用しない

 禁止
車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になります。

配線・取り付け／取りはずしは、専門技術者に依頼する

 注意
取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。
●安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない

 禁止
ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

洗車するときは、車外に取り付けたアンテナなどを取りはずす

 注意
脱落して事故やけがの原因になります。自動洗車機（高圧水）による洗車は絶対におやめください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 注意
指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管する

 注意
ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因になります。

高温になる場所などに取り付けない

 禁止
直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

 禁止
傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

 禁止
雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意する

 注意
機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しない

 禁止
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

強い衝撃を与えない

 禁止
落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

確認

安全上のご注意

正しくお使いいただくために

確認

正しくお使いいただくために

- デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に入力した個人の情報管理や消去は、必ずお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。

- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラム等が変化・消失した場合の補償はできません。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- メールなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

次の点にご留意ください。

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・AVC規格に準拠する動画（以下、AVCビデオ）を記録する場合
 - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - ・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。

- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

設置について

- 次のところには、取り付けしないでください。水のかかるところ、足でふまれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近くや、カーペットの下などの熱がこもるところ、直射日光のあたるところ。
- 本機の通風孔をふさがない水平な場所に設置してください。逆さや縦向きには設置しないでください。

取り扱いについて

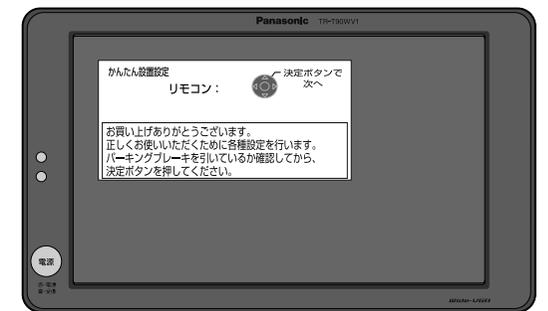
- エンジンをかけてご使用ください。エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
- 衝撃を与えないでください。本機を落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障の原因になります。
- リモコンを落としたり、踏みつけたりなど衝撃を与えないでください。無理な力をかけると部品がこわれ、故障の原因となります。
- 他の機器と接続する場合は……接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

B-CAS カードの取り扱い

- B-CAS カードを挿入しないとデジタル放送の受信ができません。
- ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
- 使用許諾契約約款をよくお読みの上、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを機器に正しく挿入してください。
- 同梱の B-CAS カードは地上デジタル専用です。BS/110 度 CS デジタル放送対応受信機には使用しないでください。
- 盗難防止のため、車から離れる際は B-CAS カードを本機から抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

かんたん設置設定について

- 本機をお買い上げのあと設置して初めて電源「入」にすると自動的に「かんたん設置設定」の初期画面になります。
- 本書の 18 ~ 21 ページをご覧ください。
- そのまま画面の内容をお読みになり設定をすれば、チャンネル設定（「ホーム」モード）など本機を使用するために必要な設置設定が完了します。（チャンネル設定は「ホーム」モードでのチャンネルが設定されます。）



お知らせ

- かんたん設置設定を行わず電源を切ると、次回も上記画面が表示されます。
- かんたん設置設定が正しく設定されていないと、番組表が表示されない場合があります。

確認

正しくお使いいただくために

ご使用前に

お買い上げ後、初めてお使いになるときは、以下に従って準備と設定を行ってください。

確認

ご使用前に

1 本機を車に取り付ける
(☞ 46 ページ)

2 アンテナを接続^{*1}する (☞ 49 ページ)
●ダイバーシティアンテナ (地上デジタル用) 付属アンテナ (フロント用) を接続する
※ 1: 必ず付属アンテナの取付説明書をお読みいただき、正しく接続してください。

3 電源コード (付属) (☞ 50 ページ) を接続する

4 カーナビゲーションまたはカーテレビ、カーモニター (☞ 51 ~ 62 ページ)、リモコン受信部^{*2} (付属) (☞ 15 ページ) を接続する
●地上デジタルチューナー接続端子付き、または映像・音声入力端子付きテレビ、モニター
※ 2: 専用端子で他機器を接続する場合は、リモコン受信部 (付属) は接続しません。

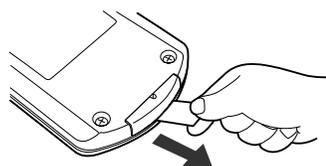
5 必要に応じてその他の機器を接続する (☞ 51 ~ 63 ページ)

6 B-CAS カードを挿入する (☞ 16 ページ)
●挿入しないとデジタル放送を視聴することができません。



7 リモコンに電池を入れる

あらかじめ電池が入っています。ご使用前に絶縁シートを引き抜いてお使いください。



8 エンジンをかける

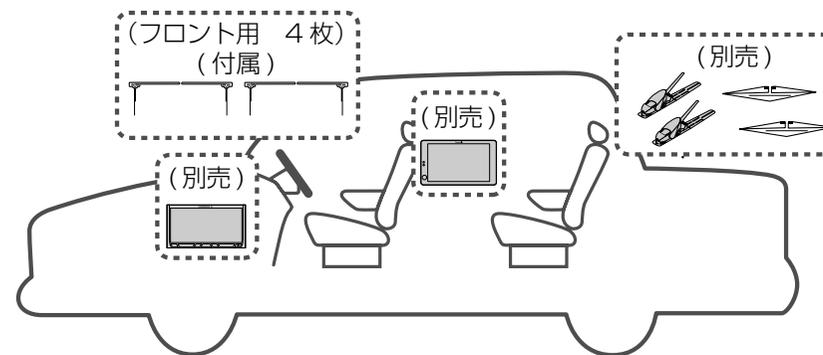
9 カーナビゲーション、カーテレビ、カーモニターの入力切換^{*3}などを本機に接続した画面にする
※ 3: 本機を接続した映像機器の取扱説明書をお読みください。

10 「かんたん設置設定」をする (☞ 18 ~ 21 ページ)
●接続されるテレビに合わせて「接続テレビ設定」を行ってください。(☞ 26, 27 ページ)
●デジタル音声接続の場合は、「デジタル音声設定」を行ってください。(☞ 28, 29 ページ)
●選局時の放送サービスを「選局設定」で設定してください。(☞ 31 ページ)

これで、基本の接続と設定は終了です
38 ページからの説明をご覧ください。
放送をお楽しみください。

別売品との組み合わせでシステムアップ

地上デジタル放送を見るには、本機と当社製のダイバーシティアンテナ (フロント用: 付属) と本機の映像を表示する映像機器 [カーテレビ (別売)、カーモニター (別売)、カーナビゲーション (別売)] 及び、接続ケーブル (別売) が必要です。
また、フロントに既存のアンテナを貼ってあるなど、付属アンテナが 4 枚貼れないときや、より強力な受信感度をもとめるときは、リア用アンテナ (別売) をご購入してください。



- 専用アンテナ (別売) ☞ 接続は、49 ページへ
モデル名: TY-CA220DT ダイバーシティアンテナ (地上デジタル用: リアウィンドウはり付けタイプ)
モデル名: TY-CA250DTF ダイバーシティアンテナ (地上デジタル用: 車室内フィルムタイプ)
- カーテレビ (別売) ☞ 接続は、54 ~ 59 ページへ
モデル名: TR-T110WV1 車載用 11V 型ワイド VGA 液晶カラーテレビ (※ 1)
- カーモニター (別売) ☞ 接続は、54 ~ 59 ページへ
モデル名: TR-M70WE1 車載用 7V 型ワイド液晶カラーモニター
モデル名: TR-M80WVS7 車載用 8V 型ワイド液晶カラーモニター
- カーナビゲーション (別売) ☞ 接続は、51 ~ 53、60、61 ページへ
モデル名: CN-HDS700D カーナビステーション (※ 1)
- 接続ケーブル (別売) ☞ 接続は、51 ~ 63 ページへ
モデル名: TW-BLTD015 車載デジタルチューナー接続ケーブル (1.5 m)
モデル名: TW-BLTD06 車載デジタルチューナー接続ケーブル (6 m)
モデル名: RP-CVDG15A D 端子映像ケーブル (1.5 m)
モデル名: RP-CVDG30A D 端子映像ケーブル (3 m)

※ 1: 専用端子 (☞ 14 ページ) で接続した場合、接続した機器側のリモコンで操作可能 (一部) となります。また、ワイド VGA 対応モデルは高画質な映像を楽しむことができます。

確認

別売品との組み合わせでシステムアップ

本機の特長と楽しみかた

確認

本機の特長と楽しみかた

本機の特長

● 業界初^{*1}、4チューナーを搭載

弱電界受信性能、高速移動受信性能を向上。ブレない綺麗な映像の受信エリアが大幅に拡大されます。
※1：2007年1月現在

● 地上デジタル放送に対応^{*2}

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。
※2：本機には電話などの通信機能が無いため、双方向データサービスに対応していません。

● ワンセグに対応^{*3}

従来の地上デジタルテレビ放送に加え、ワンセグにも対応しています。
また、地上デジタルテレビ放送↔ワンセグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより、受信エリアが拡大します。(2008年3月までは、サイマル放送^{*4}が運用されましたが、2008年4月からは番組によって異なった放送がおこなわれる場合があります。)

※3：「ワンセグ」の番組は、地上デジタルテレビ放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。そのため、お使いの車載用モニターでの表示画質が地上デジタルテレビ放送とワンセグでは、大きく異なります。本機は、ワンセグのデータ放送と字幕には対応していません。

※4：サイマル放送とは、同じ時間帯に地上デジタルテレビ放送とワンセグでそれぞれ同じ内容の番組を放送することです。

● ホーム／おでかけモード

いつも見ている番組がおでかけ先でも、いつもと同じチャンネルで視聴できます。
(放送局によっては、放送日時の変更および地区独自の番組を行っている場合があります。)
(☞ 22～25 ページ)

● 中継局 (切換／サーチ)

業界初^{*5} 中継局サーチ機能を搭載。地上デジタル放送では、同一放送局であっても各中継局によってはチャンネルが異なる場合があります。
中継局サーチ機能は、リモコンボタン一つで、走行エリア付近の放送局・中継局を自動でサーチする機能です。
※5：2007年1月31日現在。車載用 地上デジタルチューナーとして、当社調べ

● フロント4アンテナを付属

フロントガラスのみの設置により、リヤアンテナの組合せよりも、取付作業が短くすむようになりました。

地上デジタル放送とワンセグ

	1チャンネル (13セグメント)												
地上デジタル放送	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地上デジタルテレビ放送 (HDTV放送時)													
ワンセグ													

地上デジタル放送を楽しむ

(☞ 38～45 ページ)

- 本機は、地上デジタルチューナーです。地上デジタルアンテナを接続してからテレビやカーモニターに接続すれば、地上デジタル放送が視聴できます。

B-CAS カードを挿入しないと地上デジタル放送が視聴できません。(☞ 16 ページ)

地上デジタル放送は、従来の地上アナログ放送 (VHF、UHF) や BS アナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。

番組表を使う

(☞ 40、41 ページ)

- データ放送
本機の画面の説明に従い操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。なお、本機には電話通信機能が無いため、双方向データサービスに対応していません。

本機に接続した映像機器の画面上に一覧表示します。
(地上デジタルテレビ放送は最大8日分、ワンセグは最大10番組)

- 番組表から今、放送中の番組の選局ができます。
 - 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。
- ※本機はGガイドのサービスに対応していません。

便利な機能を使う

(☞ 30、38 ページ)

おまかせ受信モード (受信モード自動切換) でリモコン操作不要のワンセグ切り換えができます。

- おまかせ受信モード (受信モード自動切換:「オン」) を設定すれば、電波状態を感知して地上デジタルテレビ放送とワンセグを自動で切り換え、同じ番組を表示できます。

中継局サーチ (中継局) で走行エリア付近の放送局・中継局を自動でサーチできます。

- 地上デジタル放送とは、UHF 帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2008年3月現在)

- 「ワンセグ」とは、携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では、1チャンネルをHDTV放送時は12セグメントを使用し、残りの1セグメントを使うため、このように命名されました。

確認

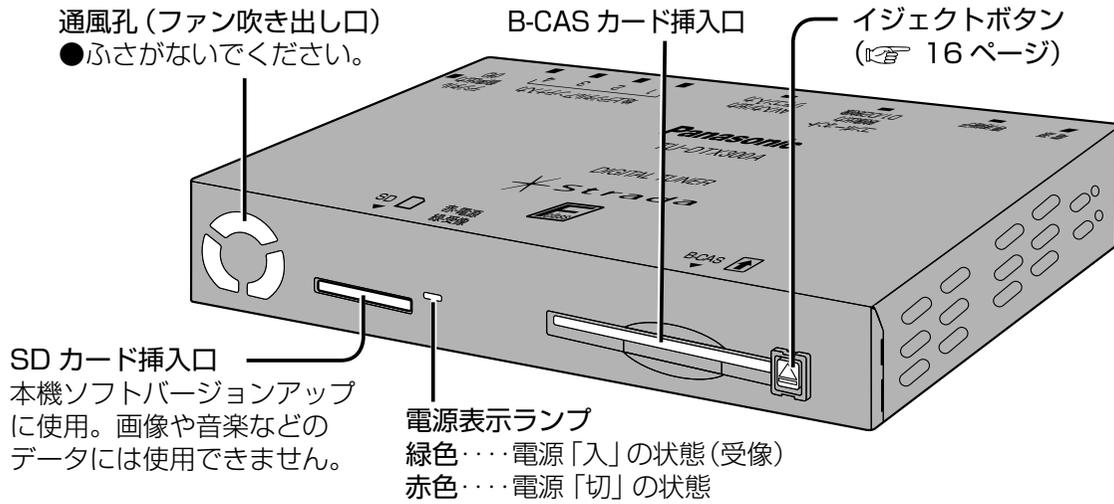
本機の特長と楽しみかた

各部のはたらき

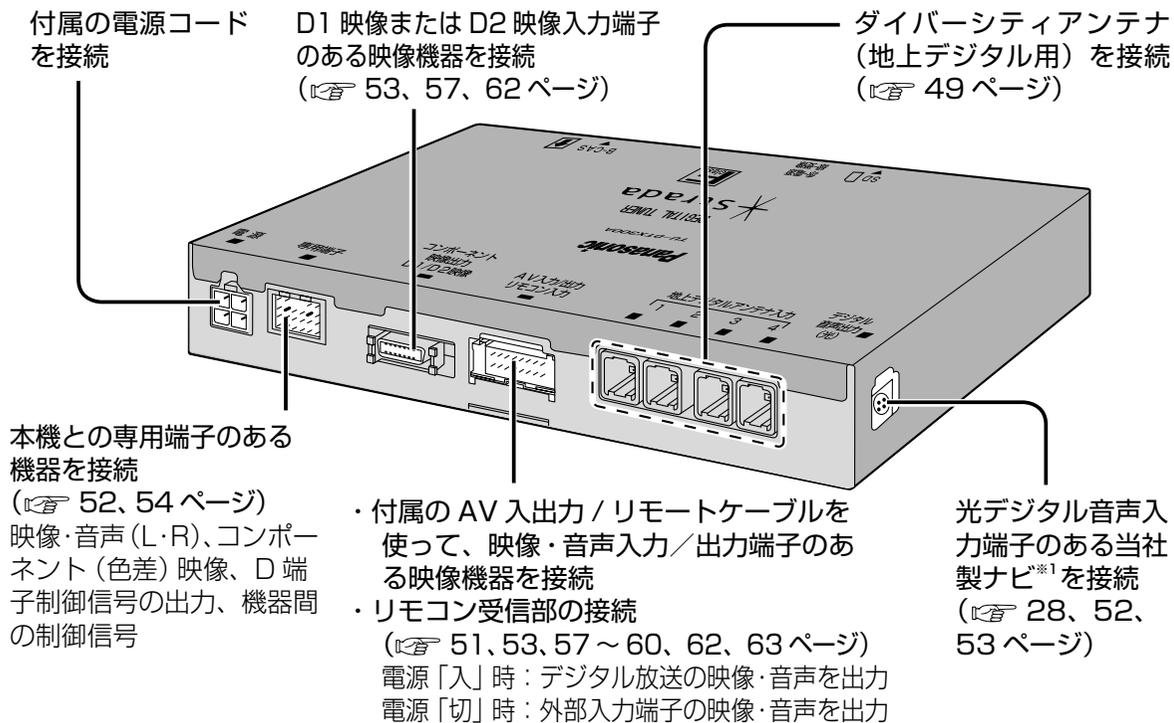
確認

各部のはたらき

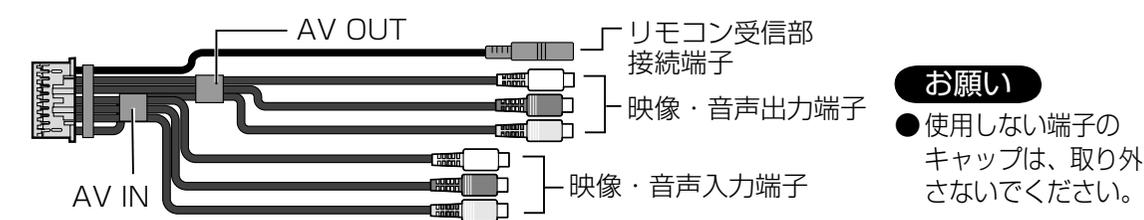
本体前面



本体背面

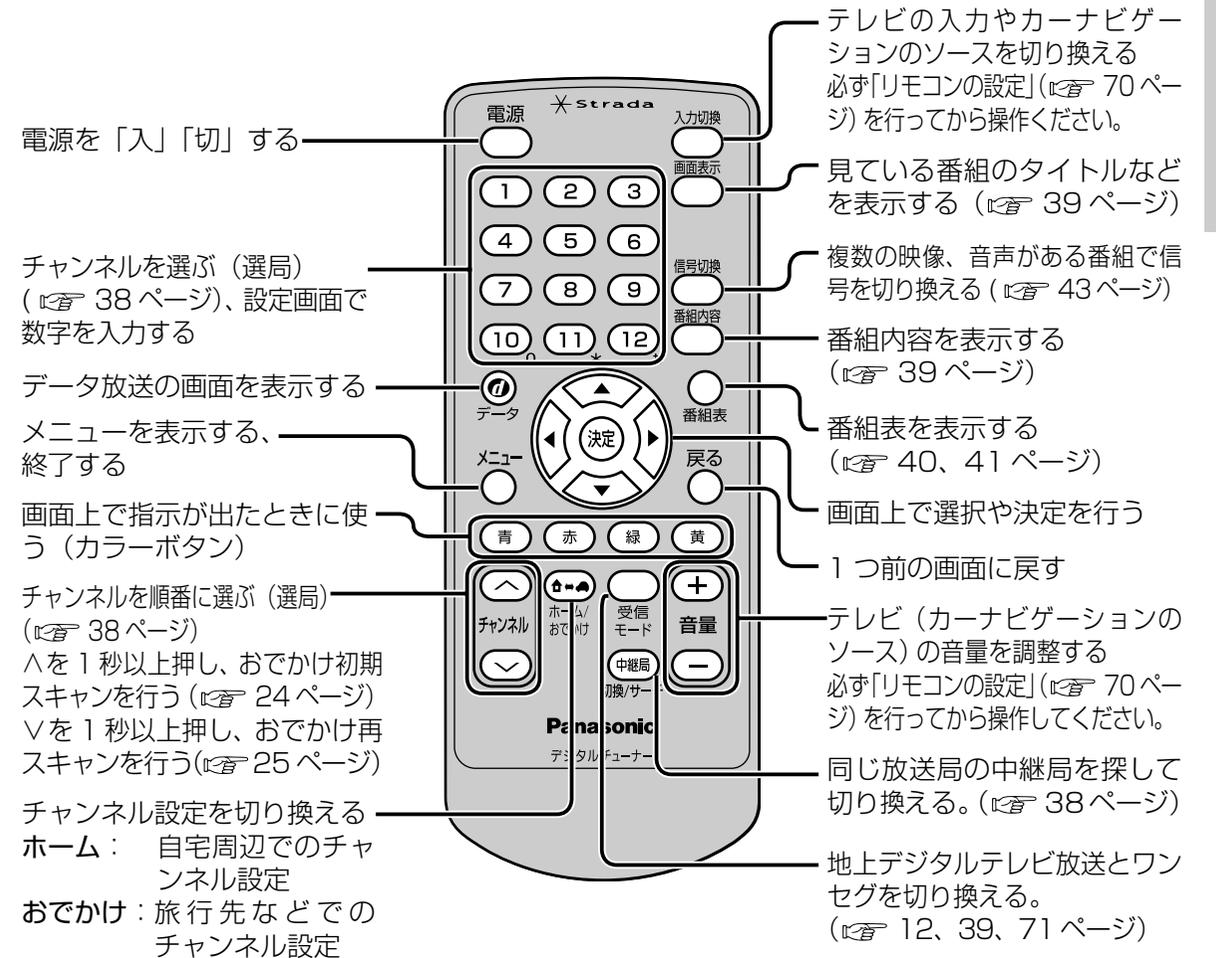


■ AV 入出力 / リモートケーブルについて



※ CN-HDS955ND/935MD/905D/950MD/930MD/900D (生産終了製品)

リモコン

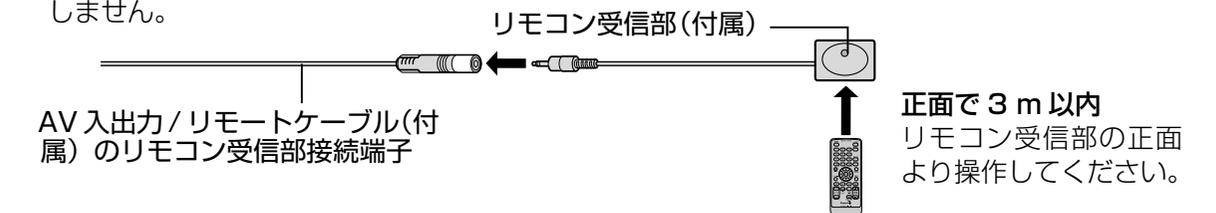


お願い

- リモコン受信部に直射日光や強い照明があたると、リモコンの動作が鈍くなります。リモコン受信部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコン受信部とリモコンの間に物を置かないでください。
- リモコン受信部は指向性が強いので、傾けると動作しにくくなります。リモコン受信部の正面より操作してください。

■リモコン受信部 (付属) の接続

- 本機の専用端子以外の端子だけで他の機器を接続してお使いのときは、必ずリモコン受信部 (付属) をお使いください。専用端子で他の機器を接続する場合は、リモコン受信部 (付属) は接続しません。



確認

各部のはたらき

ビーキャス B-CAS カードの挿入

確認

B-CAS カードの挿入

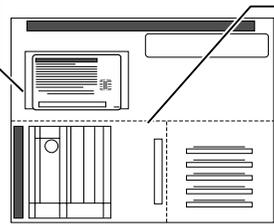
B-CAS カードについて

- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのため必ず挿入してください。
- B-CAS カードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

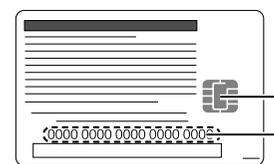
地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

B-CAS カード(添付)

- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



ユーザー登録はがきはがきまたは Web でユーザー登録してください。(登録は無料です)



B-CAS カード
IC (集積回路)
B-CAS カード番号

- B-CAS カードを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

■ B-CAS カード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC (集積回路) 部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。
- BS/110 度 CS デジタル放送対応受信機には使用しない。(同梱の B-CAS カードは地上デジタル専用です。)

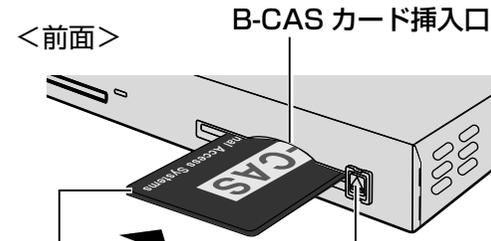
- B-CAS カードについてのお問い合わせは (株)ビーエス・コンディショナルアクセス システムズ カスタマーセンター TEL 0570-000250

B-CAS カードの入れかた

1 エンジンを切り、ACC オフにする



2



B-CAS カード
「カチッ」と鳴るまで、奥に挿入してください。

イジェクトボタン
取り出すときは、先端の細いもので押してください。

- B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

- B-CAS カードのテストをするときは (☎ 37 ページ)

- B-CAS カードを抜くとき
→ (1) エンジンを切る。(ACC オフ)
(2) イジェクトボタンを押し、ゆっくりと B-CAS カードを抜く。

お願い

- B-CAS カードには、IC (集積回路) が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- B-CAS カードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CAS カードテストを行ってください。(☎ 37 ページ)

カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせください。修理センターなどでカード交換を行った際発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

メニュー画面の操作と項目

画面で確認しながら設定や放送メールなどの情報を見ることができます。

メニュー 押す
→下記の「メニュー画面」が表示されます。

押して「情報/メール」または「システム設定」を選ぶ
●本書では、この操作を◀▶で表記しています。

押して見たい情報や設定したい項目を選ぶ
●本書では、この操作を▲▼で表記しています。

設定値や選択項目を選ぶときに押す
●本書では、この操作を▲▼◀▶で表記しています。

■ 1つ前の画面に戻るとき→◯を押す

メニュー画面

■「情報/メール」メニュー	
情報/メール	
放送局一覧	現在登録されている地上デジタル放送の放送局を一覧で表示 (☎ 36 ページ)
アンテナレベル	受信しているアンテナのレベルを表示 (☎ 36 ページ)
放送メール	放送局からのお知らせメールを表示 (☎ 37 ページ)
B-CASカード	B-CAS カードの番号の表示とカードのテスト (☎ 37 ページ)
ID表示	本機に関する情報を表示 (☎ 37 ページ)

■「システム設定」メニュー	
システム設定	
1 チャンネル設定	地上デジタル放送のチャンネルを設定 (☎ 22、23 ページ)
選局設定	受信モード自動切換設定と、選局の対象となる放送サービスを設定 (☎ 30、31 ページ)
受信設定	
地域設定	アンテナの受信状況 (アンテナレベル) を確認する (☎ 34 ページ)
接続テレビ設定	データ放送で地域情報を受信するための設定 (☎ 32 ページ)
音声設定	接続するテレビに合わせて設定 (☎ 26 ~ 27 ページ)
個人情報消去	音声レベルの設定 (☎ 28、29 ページ)
	本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報 (メールなど) をすべて削除し、設定を工場出荷状態に戻す (☎ 35 ページ)

確認

メニュー画面の操作と項目